

「検体採取等に関する厚生労働省指定講習会  
北海道第3回目 9月12・13日(土・日) 申込 9/4迄

平成27年9月12・13日(土・日)の二日間にわたって札幌医学技術福祉歯科専門学校にて、厚生労働省指定の「検体採取等に関する講習会」を開催いたします。

本年4月1日より、臨床検査技師の業務範囲が拡大されました。採血に加えて「検体採取」と生理学的検査として「味覚検査」と「嗅覚検査」が業務に追加されました。

検体採取については、昨年6月の通常国会において、医療・介護制度改正の一括法に含まれる形で臨床検査技師法の改正案が成立したものです。昭和45年に採血行為と生理学的検査が認可されてから実

に44年ぶりの業務拡大となり検査技師にとって新たな幕開けとも言えまじょうか。

これは国家資格の追加付与となり既免許者には厚生労働省指定講習会での研修が義務化されており、技師会では全会員の受講を目指しています。北海道では3月、6月に次ぐ3回目の開催であり、申込期限は9月4日(金)です。日臨技ホームページからお申込みください。

なお、第4回は平成28年3月5・6日(土・日)開催予定です。この時期は天候による交通機関の乱れも懸念されますので、特に遠方の方は今回の受講をお勧めします。また、それ以降の開催は未定です。

(副会長 橋内 健一)

# 北臨技 NEWS



一般社団法人 北海道臨床衛生検査技師会  
北臨技 NEWS No.279 25.Aug.2015  
TEL:011-786-7071/FAX:011-786-7073  
http://www.hokuringi.or.jp

## !! 表紙写真大募集 !!

北臨技会誌 2015 Vol.13 No.2 通巻 26 号の表紙写真を募集しておりますので、テーマは「冬」です。風景や動物、草木など対象は何でも構いません。写真のタイトルと簡単なエピソードを添えて、北臨技事務所までお寄せください。

## 第189回北臨技講習会 「症例で考える輸血 in 札幌」終了報告

平成27年8月8日(土)北海道大学保健学科にて、第189回北臨技講習会「症例で考える輸血 in 札幌」を受講者30名の参加で開催しました。

日常遭遇し得るような ABO オモテウラ不一致症例および不規則抗体検出例に輸血副作用を絡めた2題について、検査の進め方や結果の解釈、安全な輸血用血液製剤の選択、輸血に関する副作用の対策などをグループ内で話し合い、講師のサポートの元にグループ全体の意見をまとめて考え方を確認しました。今回も症例問題のテキストを事前に配布し、各自十分に検討してから講習会に参加されておりました。ベテランから日当直のみ担当されている方まで積極的な討論が行われ、今回の症例に限らず自施設で困っていることや疑問点なども持ち寄り、活発な意見交換が行われました。また、輸血のトピックスと題してヘモビジランスや血液事業の最新情報の提供がありました。

終了後のアンケートからも満足との評価を多くいただき、大変有意義な講習会であったと感じました

(輸血部門員 坂口 良典)

## <北日本支部医学検査学会 プログラム集&抄録集> 10月17・18日 札幌コンベンションセンター

- ・9月上旬にプログラム集を会員1人に1部発送します。プログラム集は A5 サイズ縮小版で一般演題の抄録は含まれていません。なお、間もなく、学会HPから一般演題抄録が閲覧できるようになりますので、ご利用ください。
- ・抄録集(A4、一般演題抄録含む)は当日配付となります。

### ◇求人情報◇

- 1) 札幌市中央区 病院 正職員 生理検査(主にエコー、未経験者可)
  - 2) 札幌市 病院 正職員(勤務地:札幌,苫小牧,道央圏) 応募 9/24迄
  - 3) 札幌市 病院 パート(9:00~12:30) 生理検査,内視鏡検査助
- ※詳細は北臨技事務所までお問い合わせください

## 平成27年度日臨技北日本支部 医学検査学会(第4回)特別企画のご紹介

### —教育講演—

1. 肺動脈弁逆流の心エコーを考える  
三神 大世 先生  
(北海道大学大学院保健科学研究院 特任教授)
2. 輸血医療で医師が検査技師に求めるもの  
紀野 修一 先生  
(日本赤十字社北海道ブロック血液センター 副所長)
3. 臨床化学検査における分離分析法の重要性と具体的応用例について  
森山 隆則 先生  
(北海道大学大学院保健科学研究院 病態解析学分野 客員教授)
4. 血液疾患の診断・治療と遺伝子染色体検査  
佐藤 勉 先生  
(札幌医科大学医学部 腫瘍・血液内科学講座 講師)
5. 尿検査から考えたい病態生理学的背景  
～スペシャリストとジェネラリストの協奏～  
油野 友二 先生  
(学校法人北陸大学 新学部設置準備室 教授)
6. 小児の侵襲性細菌感染症の動向  
坂田 宏 先生  
(JA北海道厚生連旭川厚生病院 小児科 主任部長)
7. 病理肉眼標本 ～医学教育における利用法～  
三宅 康之 先生  
(倉敷芸術科学大学生命科学部 生命医科学科 教授)
8. 臨床に求められる髄液検査情報  
～知識と技術のハーモニー～  
大田 喜孝 先生  
(国際医療福祉大学福岡保健医療学部 医学検査学科 臨床教授)